

令和7年度

産学連携コ-ディネーター育成研修会

北海道コ-ディネーター
ネットワーク・フォーラム

「つなぐ」

地域における各セクターが結びつくきっかけや、「つながり」がもつ重要性、「つなぐ」ことの大切さ、人・組織・技術のつながりから生まれた

新たな取り組みなどについて、

実際の経験談を通じて理解を深め、

産学官連携に携わる人材同士のつながりの創出や活動の推進を目指します。

現地+オンライン
参加費
無料

2026.1.27(火)
14:00～16:40

赤れんが庁舎(北海道庁旧本庁舎)
2階「赤れんがホールA」(札幌市中央区北3条西6丁目1番地)

PROGRAM

基調講演
事例紹介
トークセッション
ネットワーキング

- 受付時間: 13:30～
- 定員: 現地100名／オンライン100名
- 対象: 大学、支援機関のCD人材・職員、
自治体の産学官連携担当者、金融機関等の
民間機関での地域連携部門担当者、
オープンイノベーション担当者 など

共催: 北海道
ノーステック財団(チャレンジフィールド北海道)
北大リサーチ＆ビジネスパーク推進協議会
特定非営利活動法人 産学連携学会

後援: 全道産学官ネットワーク推進協議会



NOASTEC

チャレンジフィールド
北海道 CHALLENGE FIELD HOKKAIDO

PROGRAM (フォーラム:130分、ネットワーキング:30分)

14:00～ 開会挨拶 14:05～14:40 基調講演



◎テーマ

「高等教育機関の視点から見る産学官連携
～全国の事例を参考に、北海道らしい産学官連携を考える～」
大学の「研究」にスポットをあてた産学官連携の取組や、大学と他機関との連携事例などから、
今後の道内の産学官連携のヒントを得る。

つい ざき ま くす
文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課 課長補佐 對崎 真楠 氏 博士(農学)

博士号を取得後、2012年文部科学省入省。宇宙開発利用、環境エネルギー、量子研究などの研究開発や博士人材育成に関する政策に従事。米国ジョージワシントン大学宇宙政策研究所客員研究員を歴任。2024年6月から現職。

14:40～15:10 事例紹介

道内の「産」「学」「官」それぞれの立場の方々から、参加者と同じ目線で、異なる立場の人々がつながる難しさや面白さなどを具体事例を交えて発表いただき、参加者が産学官連携を自分事として捉え、明日の活動につなげるきっかけとする。



北海道国立大学機構
帯広畜産大学産学連携センター
副センター長／准教授
ひがし ようすけ
東 陽介 氏 博士(理学)



伊達市 経済環境部長 兼
企画財政部参与(SIP事業担当)
おか むら たか お
岡村 崇央 氏



株式会社サイバコ 代表取締役CEO
いわ せ みね よ
岩瀬 峰代 氏
博士(歯学・理学)

博士号取得後、科学技術振興機構で科学技術コーディネータとして産学連携によるバイオ関係研究開発プロジェクトの推進や大学先端共用設備の企業利用支援を核とした産学における共創の場作りに従事。それらの経験を活かし、帯広畜産大学産学連携センターで産学官の協働による地域課題の解決・産業の活性化などに取り組む。2022年4月から現職。

伊達市役所入庁後、高齢者福祉や農業政策などの分野で地域住民等と関わりを持ち、人事や財政などの内部管理業務にも従事。また、北海道庁への派遣など幅広い経験を経て、2021年4月から企画財政部長として室蘭工業大学などとのSIP事業「だてプロ」の立ち上げに従事。ほかのSIPチームとの連携の市側の窓口として調整役を担う。2025年4月から現職。

総合研究大学院大学 学融合推進センター講師、島根大学 大学教育センター准教授を経て、2023年5月から現職。学位を取得した生物学分野(分子進化生物学、歯の発生学)と、大学で実践してきたアントレプレナーシップ教育、地域連携型教育、教育方法開発及び教育評価の経験を基盤に、サイエンスコミュニケーション:科学技術と社会の共創の場を創り出すサービスを実施。対話の場の創出に力を入れている。

15:20～16:10 トークセッション



◎モデレーター
公益財団法人
北海道科学技術総合振興センター
(ノーステック財団)
事業戦略統括部
チーフコーディネーター
扇谷 悟氏

◎スピーカー
帯広畜産大学 産学連携センター
副センター長／准教授
伊達市 経済環境部長 兼
企画財政部参与(SIP事業担当)
株式会社サイバコ 代表取締役CEO 岩瀬 峰代 氏

事例紹介者らによるトークセッションを通じて、
「産」「学」「官」それぞれの立場を理解した
北海道らしい産学官連携を考える。

閉会

16:10～16:40 ネットワーキング

・申込方法

下記URLもしくは二次元バーコードよりお申し込みください

<https://www.harp.lg.jp/5AVA7qFc>

・申込期限 2026年1月20日(火) •定員 会場 100名 オンライン 100名
※定員となり次第終了

・問い合わせ先 北海道総合政策部計画局科学技術振興課

TEL:011-206-6478 E-mail:sogo.kagi2@pref.hokkaido.lg.jp



全国の産学官連携の取組や、道内の「産」「学」「官」それぞれの立場で取り組む事例を参考に、今後の北海道らしい産学官連携を考える